

鹿屋グラウンド・ゴルフ協会と市長との「“本気”で語ろう会」 会議録

団体名	鹿屋グラウンド・ゴルフ協会
日時	平成 28 年 7 月 11 日（月）13 時 30 分から 15 時 00 分まで
場所	市役所本庁 庁議室
参加者	鹿屋グラウンド・ゴルフ協会（笠毛兼彦会長外 11 名）
	市長、市民生活部長、市民スポーツ課長、ふるさとPR課長補佐

意見交換

- 1 かのやグラウンド・ゴルフ場の施設の整備等について
- 2 九州大会以上のグラウンド・ゴルフ大会の開催誘致及び鹿屋市長杯グラウンド・ゴルフ大会の開催について
- 3 グラウンド・ゴルフと連携した鹿屋市の観光振興等について（周遊ルート等の構築）

○ 市長あいさつ

- ・お忙しい中、“本気”で語ろう会へご参加いただき、感謝していること。
- ・グラウンド・ゴルフは、ご高齢の方々の競技者が多いようであるが、子どもや親子を交えて、かのやグラウンド・ゴルフ場を利用できるような施設にできたらよいのではないかと考えていること。
- ・多くの人に施設を利用していただき、地域外の利用者を鹿屋市内に泊めて、お金を落としていただく努力もしてまいりたいこと。

1 かのやグラウンド・ゴルフ場の施設の整備等について

意見： 予算を伴う施設の整備について、

- ・雨が降った際の水溜りの解消
 - ・コースの手直し
 - ・避雷針の設置
 - ・駐車場に音声が届くようなスピーカーの設置
 - ・駐車場不足の解消
 - ・救護室（クラブハウス内）の畳の取替え
 - ・トイレ、水道設備の増設
- をお願いしたい。

市長： まず、駐車場とトイレ設備については、増設しなければならないと考えている。駐車場については、周辺に国有地もあるため、前向きに検討していきたい。

また、避雷針については、建築上は必要ないのかもしれないが、大木もあるので、専門的な見地も交えて検討させていただきたい。

畳については、衛生面から考えても板張りの方が良さそうな気がする。畳の方が良いのか。

意見： 大会準備等で使用する際には畳の方が良いと思う。ただし、板張りの場合でもイス等があれば問題ないと思う。

意見： グラウンド・ゴルフ協会は、後期高齢者の健康寿命を延ばし、1日でも長くグラウンド・ゴルフができるようにする事を1つの目標としており、何年か前にグラウンド・ゴルフによって高齢者の健康保険料が浮いてきていると聞いている。

コースの整備については、そんなにお金がかからないはずであるから、できる箇所から実施してほしい。

市長： 水はけ等については、担当課や指定管理者のほか、専門的な見地からもどこがコースとしてだめなのか調査し、対応可能かどうか判断したい。

意見： 指定管理者にコース整備について相談をすると、「防衛省から借用している土地であるため、勝手に整備することは出来ない」とよく言われる。指定管理者から市へそのような報告が上がっているか。

市長： 報告はあるはずであるが、今回、本気で語ろう会において皆さんから意見が聞けたので、市民スポーツ課と指定管理者で協議ができると思う。どういう理由で対応が難しいのか、または対応が可能なのか、協議してお伝えしたい。

意見： 土地の借用について、防衛省との取り決めはどこまでされているのか。大会の中には、企業が協賛している大会もあるが、物販はできないのか。

市長： 防衛省から土地の使用許可を得ている状態である。無償で借り受けているため、物販等の販売は原則できない。ただし、里道は市有地である。例えば、長屋を作ってすべての大会で販売を行うことは認められないが、県外からの参加者もあるような大きな大会が開催される場合、里道上であれば、臨時的な物販は可能であると考えます。

意見： そういうときは、鹿屋グラウンド・ゴルフ協会から市に出展をお願いすれば良いか。

市長： 情報をいただければ、販売物が競合しないよう鹿屋市観光協会に依頼して出展してもらうことは可能である。

課長： 自動販売機の設置についても販売行為の禁止規定がある。設置については、福祉活動への支援として母子寡婦福祉会が設置する場合は認められており、クラブハウス内のみ特別に許可をいただいている。

これまで物産販売としては、ねんりんピック、南日本グラウンド・ゴルフ大会を特例として許可している。何でも良いという訳にはいかないが、県内外から参加される方への「おもてなし」として販売する分には良いのではないかと考える。

2 九州大会以上のグラウンド・ゴルフ大会の開催誘致及び 鹿屋市長杯グラウンド・ゴルフ大会の開催について

意見：九州大会、全国大会の次回開催地等の情報を中々教えてもらえないため、行政から県のグラウンド・ゴルフ協会を通じて働きかけをしてほしい。

ちなみに日本グラウンド・ゴルフ協会の杉山会長は、鹿屋体育大学創設時の文科省の諮問委員である。鹿屋市にゆかりのある方だと聞いており、私の想像であるが、九州大会や全国大会の誘致の際に、鹿屋が手を挙げれば有利に事が進むのではないかと考えている。

市長：全国・九州レベルの大会が何回程度開催されるのか、次はどこで開催されるのか等の情報については、行政より皆さんの方がお持ちだと思う。

意見：九州大会の県予選をよく横川町で開催しているので、鹿屋市でも開催してほしい。

市長：県内では、なぜ、霧島市横川の丸岡公園で、大きな大会が開催されているのか。鹿屋より横川のコースの方が良いのか？

意見：コースは横川が4コース、鹿屋が8コースあり、鹿屋の方が良い。しかし、交通の便や、ホテル・温泉といった宿泊場所の問題があり、横川や指宿、鹿児島市で開催されているところである。3回に1回くらいは鹿屋で開催出来たら良いと思う。

市長：開催誘致には、設備面だけでなく行政のバックアップや協会の運営体制が整っているかなども重要であると考えている。何もかも行政に頼るのではなく、ほかの団体やグラウンド・ゴルフ協会も一緒に声をあげるべきだと思う。

意見：鹿屋市長杯として、他の市町村や各協会に案内状を出し、全県的な大会として開催できないか。

市長：市長杯については、鹿屋グラウンド・ゴルフ協会定例会（5月・11月・12月開催）の1つの大会名を市長杯に変更してもらえたらありがたい。特に11月開

催であれば、鹿屋の特産品がたくさんあるので、県外からの参加者にお土産として配布することもできると思う。

3 グラウンド・ゴルフと連携した鹿屋市の観光振興等について (周遊ルート等の構築)

意見： 大会では、県内外から多くの参加者が集まるが、大会終了後そのまま帰ってしまう参加者が多い。鹿屋市内には防空壕や慰霊塔などの戦跡、大隅半島には内之浦のロケット基地や佐多岬などの観光スポットがあるので、グラウンド・ゴルフ場でのプレーを含んだ観光コースの設置をお願いしたい。

市長： 参加者は、日帰りで帰ることが多いのか。

旅行代理店と話をし、グラウンド・ゴルフ協会の上手な選手と対戦する「グラウンド・ゴルフツアー」のようなものが企画できるのではないかと。

意見： しらさぎの宿泊所が増設されるのであれば、グラウンド・ゴルフ場と連携して、1泊3食+グラウンド・ゴルフといったような企画もできるのではないかと期待している。

ロケット基地との連携は考えていないか。

市長： ロケット基地との連携については、ロケットが頻繁に飛ぶわけではないので、それだけではなく、佐多岬などの観光地等と連携し、点と点を結んで線にし、面にしていかなければならないと思っている。

今年からは大隅地域の広域観光に力を入れている。鹿屋は、鹿屋体育大学や、かのやグラウンド・ゴルフ場などの施設がある。昨年には自転車のプロチームも誕生している。健康で長生きすることが人間として最も幸せなことであるから、そういった意味では、スポーツ観光として良いフィールドがあり、今後おもしろいことができると思っている。

意見： 観光や物産といった、他の協会の方々とも意見交換会を実施してほしい。

市長： 今年、観光・物産・グリーンツーリズムの協会を一本化したところである。他の分野の方が混ざると意見を出しにくくなることも考えられるが、いろいろな分野の方々一堂に会して、鹿屋の将来について語り合う機会は必要だと考えている。

市長総括

直接グラウンド・ゴルフ協会の皆様の声を聞くことができ、改めて皆様のグラウンド・ゴルフに対する熱い思いを感じることができ、大変良い機会を持つことができた。今回のようなグラウンド・ゴルフ協会と市との意見交換会を定期的
に開催し、グラウンド・ゴルフ協会の皆様のご意見をいただきたいと考える。

施設整備については、我々も必要であると考えている整備もあるため、現場をよく見せていただいて、対応したいと思っている。無償で借り受けているため、防衛省等の団体との調整などの難しい面もあると思うが、ご意見をいただいたので、できるだけ前向きに検討していきたい。